

一般社団法人 スマートエネルギー産業振興機構

【 役員一覧 】

【 顧問 】

太田 健一郎 Kenichiro Ota

横浜国立大学 工学研究院 名誉教授・工学博士

元一般社団法人 燃料電池開発情報センター 代表

1995/04 ～ 2002/03 横浜国立大学 工学部 教授

2001/04 ～ 2010/03 横浜国立大学大学院 工学研究院教授

2011/04 ～ 現在 横浜国立大学 名誉教授

専門分野：応用電気化学：燃料電池、水素エネルギー、工業電解、水電解

主な受賞：カナダ水素協会賞(2004)、電気化学会学会賞(2011)

主な学会・学外活動：

燃料電池国際標準化委員会 委員長、産業構造審議会評価 WG 委員(経産省)、

日本学術会議エネルギー供給問題分科会委員長、元 電気化学会 会長(2008 年)、

元 水素エネルギー協会 会長(2000～2008 年)などを歴任。

【 会長 】

関 和市 Kazuichi Seki

元東海大学 総合科学技術研究所 教授・工学博士

元一般社団法人 日本風力エネルギー学会 会長

1963 年 東京大学宇宙航空研究所航空力学部 助手

1976 年 東海大学産業科学研究所 教授

1997 年 東海大学総合科学技術研究所 教授

2006 年 台湾明道大学新エネルギー研究センター 教授

2011 年 台湾逢甲大学大学院 教授

研究領域：低亜音速、遷音速、超音速、極超音速空気力学、飛翔体、人力飛行機、走行体、
構造物、長大トンネルベンチレーション等の応用空気力学、エネルギー変換工学、風水車工学、
風水力発電システム。

社会活動：経済産業省 総合資源エネルギー調査会 新エネルギー部会 委員、新エネルギー・産業技術総合開発機構 風力発電技術委員、新エネルギー財団 新エネルギー産業会議評議員・風力委員、国土交通省港湾・沿岸域における風力発電技術委員会委員、文部科学省革新技术評価委員会委員、日本電機工業会 風力発電標準化総合委員、日本工学教育協会編集出版委員、リニューアブルエネルギー有効利用・普及促進機構理事長、日本大学理工学部非常勤講師、GWEC アンバサダーなどを歴任。

【副会長】

勝呂 幸男 Yukio Suguro

元横浜国立大学 産学連携研究員、NEDO 風力発電高度実用化研究開発プロジェクトリーダー
元一般社団法人日本風力エネルギー学会 会長

1995 年 三菱重工にて風車プロジェクト室長に就任、2002 年からは主幹技師として従事。

2010 年 一般社団法人日本風力エネルギー学会会長を務める。

社会活動：新エネルギー・産業総合開発機構(NEDO)風力発電装置関連諸委員会委員、
元日本エネルギー財団(NEF)風力委員会委員、元日本電気工業会(JEMA)風力発電設備技術関連
調査研究委員会委員、経済産業省 元原子力安全・保安院(現 商務情報政策局 産業保安グループ)
電力安全課 風力発電技術基準検討委員会委員及び委員長、地方自治体及び風力発電会社風車事故
調査委員会委員長などを歴任。

【副会長】 ＊執行理事(兼務)

高見 弘 Hiroshi Takami

芝浦工業大学 工学部 電気工学科 教授・博士(工学)

2005 年 芝浦工業大学工学部 電気工学科 助教授(2007 年職名変更により准教授)

2008 年 芝浦工業大学工学部 教授

電動機制御、再生可能エネルギーの発生などのパワーエレクトロニクス関連の
制御技術の開発に従事。

現在、インターネットデータセンターの冷却装置用モータドライブシステムの開発
やスターリングエンジンによる再生可能エネルギー発電制御等の研究に取り組む。

社会活動：電気学会、計測自動制御学会、電子情報通信学会、アメリカ電気学会等
の会員。NPO 法人日本スターリングエンジン普及協会 理事。

【評議員】 ※名前五十音順

岡本 弘 Hiroshi Okamoto

日本証券アナリスト協会検定会員。新光投信株式会社において執行役員、理事職、参与職等を
2016 年 6 月まで歴任。

1978 年 4 月新日本証券株式会社入社、1982 年より企業調査部にて機械、環境、造船セクター
のアナリスト、課長を経て 1998 年総括部長。

2000 年 4 月、新日本証券と和光証券の合併により新光証券株式会社が発足する。

2002 年より企業投資調査部長として中小型でトップアナリストを排出する調査部を運営管理。

2006 年 4 月に新光投信へ出向し企業調査部長として、2006 年に設定された「地球温暖化防止
関連株ファンド(愛称：地球力)」のプロモートなどを行った。

2007 年 4 月、新光投信株式会社転籍により執行役員企業調査部長に就任。

2009 年の「トヨタ F S ハイブリッドカーファンド」や「レアメタル関連株ファンド」など
新ファンドの企画とプロモートを行うとともに理事、参与職を歴任。2016 年 6 月に退職。

2017 年 6 月より東証マザーズ公開会社 株式会社ランディックスにて監査役就任、現在に至る。

杉山 久二 Hisaji Sugiyama *前理事

(株)マテリアル・トレイディング・カンパニー顧問、日本特殊材料(株)相談役、(株)相和 顧問
1973 年金商又一株式会社（現三菱商事 RtM ジャパン）入社後、製鋼副原料及び機能材料としての鉱産物、各種レアメタル、稀土類の開発輸入業務に従事。主に中国・ロシア・中央アジアよりの資源開発輸入を推進。2000 年中非物産株式会社取締役営業部長、2007 年株式会社 UMC 常務取締役を経て、2012 年 12 月より現職。

島海 豊彦 Toyohiko Toriumi

野村證券グループ・野村ツーリスト入社後、海外金融、IT 事情調査、視察、研修を手掛ける。その後独立して、株式会社コラボレート研究所を 2001 年 8 月に設立。現在、代表取締役会長
・海外の主にエネルギー、金融、IT 分野の事情調査、視察、研修を行う。また、若者を対象に NASA にて火星ミッションに焦点を当てた研修を通じ宇宙、科学、資源等を学ぶ機会を提供。
・株式会社グリッド&ファイナンス・アドバイザーズ（2011 年 12 月設立）代表取締役社長、企業にとっては持続性（サステナビリティ）に対するビジョンが重要だが、どのような取り組みをするべきか。社会貢献と同時に企業価値を向上させる企業活動を、金融市場や機関投資家はどのように評価するのか。答えの一つ、グローバル ESG の投資動向を尺度とするアドバイザリーを行う。
・株式会社 快適システム研究所（2015 年 7 月設立）代表取締役社長、IT の進展に伴いライフ・ワークスタイルは劇的に変化。ユーザーの潜在ニーズを能動的に掘り起こし、快適なライフ・ワークスタイルのツールを提供。

藤田 昌俊 Masatoshi Fujita

藤田 ISO コンサルティング 代表。早稲田大学理工学部電子通信学科修士課程修了。
1979 年 富士通株式会社入社後、富士ファコム制御株式会社にて SE として従事。主に鉄鋼、非鉄金属、化学ガラス大手メーカーのプロセスオートメーション分野のシステムを担当。
1996 年以降、ISO 認証取得業務に専念。
2005 年 株式会社クレオに入社、QMS 管理責任者として約 5 年間従事。
2011 年 11 月に ISO コンサル事業を立ち上げとともに QMS、ISMS 審査員としての活動を行う。

前田 暲 Akira Maeda

大阪大学 基礎工学部 電気工学科 修士課程修了。1996 年に東京大学で学位取得、工学博士。
三菱電機株式会社入社後、情報技術総合研究所画像処理グループマネージャー、システム技術開発部長、マルチメディア情報システム開発センター長、官公 C C V 事業推進センター参与を歴任。現在、株式会社スマート・エコロジー企画の主席研究員として、通信と新エネルギーの融合を目指したスマートエネルギー分野の研究・分析、技術報告書作成、関連ビジネスの構築に従事。

三輪 真之 Mayuki Miwa

昭和 21 年(1946) 岐阜県生まれ、愛知県立旭丘高校卒、早稲田大学理工学部建築学科卒、早稲田大学大学院理工学研究科博士課程（都市計画専攻）修了、博士（工学）・一級建築士、
・昭和 47 年(1972)から「計画哲学」（「日本人らしい人間哲学」を強く意識した計画論）を基幹とした政策・戦略・企画・デザイン等の研究および実践支援を行っている。

（学位論文は「まちづくりにおける市民憲章の計画論的意義に関する研究」）

- ・計画哲学研究所・所長、（元・早稲田大学客員教授、元・東京デザイン専門学校講師）
- ・主要著書：『認識論的人間論序説』『概念の分析・資料（改訂版）』『日本の市民憲章』『認識論的人間論・第 1 部－新しい人間哲学のために』
- ・電子書籍：『市民憲章とまちづくり』 ※電子書籍の取扱いには Amazon kindle
『認識論的人間論 第一部～第三部』
『概念の分析 第一部～第五部』

- ・市民憲章運動の支援のため、平成 15 年 1 月より「市民憲章情報サイト」を運営
- ・所属学会：日本建築学会、日本都市計画学会、コミュニティ政策学会、自治体学会、比較思想学会
- ・高校時代から「司 真」のペンネームで、現代詩・短歌・俳句を実作（芸象文学会同人、詩集『滯標の歌』『空蟬の歌』を出版）、近年は「平成演歌」を作詞。

毛利 宏嗣 Hirotsugu Mohri

総合商社 (株)トーメン（現 豊田通商(株)）入社、経理・財務部門勤務を経て、鉄鋼原料本部で海外ニッケル鉱石開発担当

(株)トーメンを退職し、製鋼・圧延棒鋼の埼玉製鋼(株)常務取締役就任（1975 年～1981 年）

鉄鋼業界再編により退任

(株)トーメングループに復帰して系列不動産会社監査役・代表取締役社長歴任、同系列ジュエリー会社の清算業務を終えて後、他グループ会社に勤務の傍ら国土舘大学政経学部非常勤講師を務める（2001 年～2004 年）、2010 年ニッケルコンサルタント会社常任監査役（ニューカレドニア鉱山開発）防災技研会社顧問辞任後、文筆活動に入る

2023 年より日本作家クラブ正会員

受賞歴：毎日新聞社 第一回若手経営者・管理職体験記コンクール入賞

「正論」創刊 25 周年記念企画「ノンフィクション」入賞

主な著書：「孤独な獅子」「忘れ雪」「夜明けの雪」「わかれ雲」

「北の残照」写真小説&電子書籍「英語版・日本語版」

※電子書籍の取扱いには Amazon kindle

「月刊カレント」に 11 年間の連載を行う（2013～2023 年攔筆）

「月刊ジェティ(JETI)」にコラムやエッセイを執筆掲載

【代表執行理事】 ＊事業統括・月刊 JETI 担当研究員

伊達 陸宏 Takahiro Date

株式会社スマート・エコロジー企画 代表取締役社長。一般社団法人日本作家クラブ 名誉理事
株式会社矢野経済研究所に入社後、レアメタル・チタン・アルミ等の新金属関連分野の需要開拓
を担当した後、1995 年頃よりニッケル水素電池、リチウムイオン電池等の二次電池分野、風力発
電、太陽光発電、バイオマス発電、水素エネルギー、燃料電池等の再生可能エネルギー・新エネ
ルギー分野の需要開拓及びコンサル業務に携わるとともに当該分野の産業レポートを発行する。
2009 年にフリーとなり準備期間を経て 2010 年に株式会社スマート・エコロジー企画を設立し現
在に至る。当社の事業活動において、従前より継続している新規開発製品の需要開拓分野につい
ては、欧米や中国など海外の市場開拓に重点を置き業務を遂行している。

2011 年より、産業レポートの発刊に加え、電子書籍の制作・出版を行うとともに、関連 CD・DVD
の制作にも携わる。電子書籍は Amazon Kindle にアップしている。

2015 年 5 月に、スマートエネルギー産業振興機構の一般社団法人化を行い、現在に至る。

【執行理事】 ＊月刊 JETI 担当研究員

高橋 亮 Ryo Takahashi

農食テクノインフォ 代表。山形大学農学部農芸化学科（土壌肥料）卒業。

1980 年 ベントナイトの研究開発など。1982 年 海外技術文献の企画調査。1983 年 貝割れ大根
の栽培および水耕栽培・植物工場の研究。1985 年 農業技術コンサルタント。1986 年 株式会社
化学工業日報社（取材編集、月刊誌「今月の農業」等の出版編集、新規事業開発等）。2013 年 一
般社団法人日本植物防疫協会（月刊誌「植物防疫」等の出版編集）。2017 年 定年退職後、農食テ
クノインフォを母体に、農業技術情報誌の編集制作、農業分野の取材編集等を行い現在に至る。

【名誉理事】 ＊前理事・月刊 JETI 担当研究員

廣瀬 史朗 Shiro Hirose

ひろせ事務所 代表、関西大学法学部卒業。BMC 広告マスター(旧産業広告管理士)、
京都府知恵の経営ナビゲーター、令和元年度厚生労働統計功労者 厚生労働大臣表彰。

1987 年産経新聞社入社後、日刊工業新聞社、矢野経済研究所などを経てひろせ事務所を設立、
フリーランスのライター・リサーチャーとして幅広い分野・産業界をカバー。また経済産業省
が推進している「知的資産経営報告書」に着目し、知的資産経営報告書作成の支援も行う。
大阪府豊中市改革創造会議委員（2010 年～2013 年）栃木県企業立地協力員（2011 年～2013 年）
豊中市市有施設有効活用委員会委員（2014 年～2015 年）大阪府統計調査員（2014 年～現在）
豊中市総合計画審議会委員（2016 年～2017 年）

【准理事】 ※名前五十音順

岡本 剛 Tsuyoshi Okamoto * 中央アジア担当研究員

現地法人トランスターロジスティックス（カザフスタン共和国）オーナー。

1985 年 米ダラス市にて飲食店開業。1991 年 ロシアボルゴグラード教育大に語学留学。

1992 年 ITS Japan にてカザフスタン共和国事務所長兼中央アジア担当として CIS の物流に従事、CLB（チャイナランドブリッジ）中国～欧州多国間輸送を開発。イランのバンダルアバスから中央アジアに至るサラクス経由のコンテナ輸送を開発。

2001 年 現法トランスターロジスティックスを設立、戦時中のアフガニスタンで人道援助物資の補給路を開発、油田、金・銅鉱山開発に従事

2009 年～2011 年 中央アジアより帰国後、東北大震災支援ボランティア団体を設立。

2012 年 SSA アフリカ教育支援を目的に熱電素子使用発電鍋を活用した BOP ビジネスを開始。

2018 年以降、事情継承にて 有限会社扶洋エステティックオースリーを経営。

相良 啓太 Keita Sagara

2002 年 3 月 東海大学大学院機械工学科修士課程修了

2002 年 (株)SST 主に風力発電の研究開発

2006 年 (株)IRD 半導体製造プロセス開発、表面伝導型電子放出素子ディスプレイ(SED)の製造プロセス開発

2009 年 (株)東洋設計 風力発電設備への落雷調査、風車サイト設置のための風況環境調査、太陽熱利用に関する調査

2014 年 (株)ホトニクス 落雷電流観測装置、雷様相観測装置の設計と製造

2022 年 (株)JIST 落雷電流観測装置、雷様相観測装置の設計と製造 自然エネルギーの複合化に関する研究開発

兵藤 広光 Hiromitsu Hyodo * 月刊 JETI 担当研究員

横浜国立大学工学部卒業、1989 年 株式会社矢野経済研究所に入社後、半導体・液晶分野を担当、民生機器分野、産業機器分野、通信機器分野等における半導体需要（調達動向調査）、主要半導体メーカ、液晶メーカの生産動向調査等の各種の調査及びコンサル業務に携わるとともに当該分野の産業レポートを発行する。2009 年株式会社キャップインターナショナルに入社後も半導体分野の調査及びコンサル業務を担当、産業機器（FA/自動車）分野における半導体需要（調達動向調査）等を実施する。2016 年にフリーとなり半導体分野に関する受託調査業務を継続し現在に至る。

以上、2025 年 7 月 1 日 社団法人 SEIDA 事務局作成